

助成事業名

防災連絡協議会事業（スタート助成2年目：川島防災クラブ）

事業概要

各地域を代表する防災委員にて構成する「防災連絡協議会」が設置出来る状況を整える。

実施内容



1. 道路冠水危険箇所・完遂箇所情報の更新

「道路冠水」に関する調査報告

2023. 8. 19 作成、2024. 11. 24 修正

2. 防災設備備品 設置状況一覧の更新

「防災施設備品」に関する調査報告

2023. 9. 2 作成、2024. 10. 19 修正

3. 各務原市民公園 防災イベント参加

毛布担架の実演、参加者へ風船を配布し啓発



4. 「みんなで防災！」の開催（川島中学校体育館）

開催日：11/30（土）10：00～16：00、

12/1（日）10：00～15：00

川島ライフデザインセンター クラブ・サークル発表会内

- 道路冠水危険箇所の地図・冠水箇所情報の展示
- 川島連合自治会内の防災備品の設置状況一覧の展示
- DVD「南海トラフ地震（迫りくる大地震に備える）」の上映
- こども防災クイズの実施
- 減災グッズチェックリストの配布
- アルファ米の試食体験ワークショップの実施
- 毛布で作る簡易担架体験の実施

こども防災クイズに参加したこどもには風船を進呈、減災グッズチェックリストに協力頂いた方にはトイレットペーパー（防災知識をプリントした）を進呈した。減災チェックリストでは、“自分の命は自分で守る”ための備えとして、普段から持ち歩きたいもの、災害発生直後に用意する備え、災害発生後の数日間を自給自足するための備えを説明した。



5. 能登半島被災地への応援（事業外）

団体の知見を深め活動の参考とするため、5/3～5/5 川島防災クラブ3名にて、能登半島被災地でボランティア活動を実施

事業成果

- イベント参加者に防災の大切さを啓発できた。
- 川島の各地域で、認識されている課題が違ってくるのが分かった。
（避難所まで距離が遠い・実際に数年前に避難を行ったが防災グッズが少なく避難所が機能するのか不安だ、など）
- 同じ課題を持っている地域ごとで、地域の消防団や消防署員の方々と、少しずつ話し合いを始めている。来年度は、地域ごとで防災連絡協議会が進められる気運となっている。将来的に川島の各地域を代表する防災委員による「防災会議」の設置を目標に取り組んでいく。

収支報告

事業費総額 91,174 円 / 助成金交付確定額 30,000 円

助成経費内容

防災備蓄食料、トイレットペーパー、印刷用インク、印刷用紙、事務消耗品、会場装飾、会議室使用料